

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
観光部	観光企画課	観光戦略・広域連携事業	98,354		1
観光部	観光企画課	ガス気球運行事業(観光企画課)	337		3
スポーツ部	スポーツ施設課	スポーツ施設等管理事業	1,074,788		5
文化国際部	文化課	さかい利晶の杜管理運営事業	222,328		7
文化国際部	文化課	文化芸術推進事業	36,544		9
文化国際部	文化課	国内都市交流事業	456		11
文化国際部	文化課	堺市文化振興財団事業補助	80,344		13
文化国際部	文化課	与謝野晶子顕彰事業の推進	1,306		15
文化国際部	文化課	文化施設管理運営	1,669,397		17
文化国際部	文化課	アーツカウンシル運営	25,385		19
文化国際部	国際課	外国青年(国際交流員)招致事業	13,420		21
文化国際部	国際課	姉妹・友好都市交流事業	7,069		23
文化国際部	国際課	多文化交流推進事業	15,595		25
文化国際部	国際課	アジア諸国との交流事業	4,078		27
歴史遺産活用部	文化財課	町家活用推進事業	43,638		29
歴史遺産活用部	世界遺産課	世界遺産保存活用事業	48,830		31
歴史遺産活用部	世界遺産課	百舌鳥古墳群等管理事業	36,567		33
歴史遺産活用部	世界遺産課	百舌鳥古墳群ビジターセンター管理運営等事業	26,135		35
歴史遺産活用部博物館	学芸課	普及広報事業	6,147		37
歴史遺産活用部博物館	学芸課	展示事業	24,921		39
歴史遺産活用部博物館	学芸課	国際機関との連携事業	1,197		41

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
						事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	観光戦略・広域連携事業				事業番号	008-004	
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策	(2) 戰略的な観光誘客による地域の活性化
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	①データ等に基づく観光施策の推進		
		寄与 する KPI	有	指標名	1人当たりの市内観光消費額		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	現状値	10,046円（2024年度）	目標値	20,000円(2030年度)
		寄与 する KPI	有	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
		寄与 する KPI	無	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進		
3	関連計画	堺観光戦略					
4	事業開始年度	— 年度		点検対象年度	令和 12 年度		
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、大阪観光局、KIX泉州ツーリズムビューロー、関西観光本部等
6	事業の対象	国内外の観光客、堺市民
7	事業の目的	観光客をはじめとした来訪者に市内で周遊・宿泊してもらうことで、市内の賑わいの創出及び消費拡大を図る。
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 位置情報ビッグデータやwebアンケート等を活用した市内来訪者数や消費額単価等についての市内観光動向の把握、分析 アンケート調査結果や口コミ情報、OTAデータを活用した観光スポットの認知度や評価、宿泊者データ等についての観光実態の把握、分析 大阪観光局との連携によるHPやSNSを通じた魅力発信及び大阪市内からの誘客プロモーション等の実施 KIX泉州ツーリズムビューロー等との連携によるプロモーションや周遊イベントの実施 関西の府県・政令市と連携した誘客プロモーションによる海外への情報発信
9	主な支出先	大阪観光局、KIX泉州ツーリズムビューロー など
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	重点エリア（世界遺産エリア、環濠エリア、堺東エリア、堺ベイエリア）	万人	目標値	-	-	1,000	1,200
			実績値	848	890		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	堺の魅力発信や誘客プロモーションを通じて観光客数が増加することは本事業の目的に寄与すると考えられるため。また、堺市基本計画及び堺観光戦略の期間が満了し、新たな計画等が策定されるため、KPIと本事業の成果指標を合わせるもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
12	関係団体と連携したプロモーション・情報発信回数	回	目標値	25	150	検討中	
			実績値	141	集計中		
			達成率	564%	-		
	当該指標を選定した理由	他団体との連携による幅広いネットワーク活用やノウハウ共有を通じて、より効果的・効率的な情報発信が可能となり、来訪者数の増加に寄与すると考えられるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	大阪観光局及びKIX泉州ツーリズムビューロー等と連携したプロモーション・情報発信の取組から算出					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	観光戦略・広域連携事業	事業番号	008-004
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	77,630	108,003	111,017	108,946	98,354
	国支出金	6,542				
	府支出金					
	市債					
	その他（基金・寄付金・利子収入）	8,000	3,476	3,522	2,234	36
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源		63,088	104,527	107,495	106,712	98,318

事業費の内訳

14	事業費内訳	主な項目		年度	事業費	うち一般財源	主な項目		年度	事業費	うち一般財源
		R7	予算	R7	予算	R8	予算	R8	予算	R7	予算
事 業 費 内 訳	観光動向調査経費	R7	予算	880	880		堺観光戦略策定に係る懇話会委員謝礼金	R7	予算	204	204
		R8	予算	880	880				0	0	
	位置情報ビッグデータ等分析ツール 使用料	R7	予算	6,622	6,622		万博シアタールーム上映（広告料）	R7	予算	2,200	0
		R8	予算	3,432	3,432				0	0	
	KIX泉州ツーリズムビューロー負担 金・会費	R7	予算	14,006	14,006		EXPO2025関西観光推進進行議会負担金	R7	予算	5,000	5,000
		R8	予算	14,006	14,006				0	0	
事 業 費 内 訳	大阪観光局負担金	R7	予算	80,000	80,000			R7	予算		
		R8	予算	80,000	80,000				0	0	
	積立金	R7	予算	34	0			R7	予算		
		R8	予算	36	0				0	0	

債務負担行為

15	期間	要求額

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
	R7まで	・位置情報ビッグデータやwebアンケート等を活用した観光動向調査分析の実施 ・大阪・関西万博の効果を最大限に活かした誘客強化 ・次期観光戦略の策定
16	R8	・位置情報ビッグデータやwebアンケート等を活用した観光動向調査分析の実施 ・次期観光戦略に基づくターゲット決定、消費促進施策の実施 ・好機を見据えた関係団体との事業連携
	R9以降	・位置情報ビッグデータやwebアンケート等を活用した観光動向調査分析の実施 ・次期観光戦略に基づくターゲット決定、消費促進施策の実施 ・好機を捉えた関係団体との事業連携

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドマスターズゲームズなどの好機や、今後さらに増加が見込まれるインバウンド需要の取り込みによる誘客効果を最大化し、堺市基本計画2030のKPI達成をめざす。また、地下鉄などにわ筋線の開業など、2031年以降に訪れる好機を見据え、強力な情報発信力とネットワークを有する大阪観光局や、泉州地域の観光振興に取り組むKIX泉州ツーリズムビューロー等と連携し、各団体の強みを生かした活動を通じた、海外を中心とした広域事業に取り組む。 ・国内観光客については、位置情報ビッグデータやじゅらんエリアダッシュボードデータ、観光動向調査等により、市内来訪時の動向を把握し、観光マーケティングに活用することで、より効果性の高い取組を実施する。 ・加えて、大阪観光局から提供されるインバウンド来訪者数等の各種データを活用し、これまで把握の難しかった訪日外国人観光客の人流についても把握し、消費効果の高いインバウンドの誘客や長時間滞在に繋げ、事業に反映させる。 ・また、本市を取り巻く環境を見据え、堺観光戦略をもとに本市が国内外から選ばれる観光地となるよう事業を展開することで観光需要を喚起し、KPI達成に寄与する。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	ガス気球運行事業（観光企画課）				事業番号	008-096
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上 ①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数			
		有	現状値	848万人（2024年度）		目標値 1200万人(2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		寄与 する KPI	有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進			
2	関連計画	堺観光戦略、堺・世界遺産魅力創造ロードマップ						
3	事業開始年度	令和 3 年度		点検対象年度	令和 8 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	国内外の観光客、堺市民				対象数 単位		
7	事業の目的	上空から百舌鳥古墳群や堺の街並みを眺望できるガス気球を運行することで、百舌鳥・古市古墳群の歴史的な価値や雄大さなどの魅力を伝達し、世界遺産の保全と未来への継承につなげる。						
8	事業内容	・ガス気球運行による百舌鳥古墳群の「価値や魅力の理解への効果」「世界遺産への景観・環境面での影響」などを検証するための調査・分析を実施 ※こども気球体験事業は、令和8年度より観光推進課所管の「ガス気球運行事業（観光推進課）」にて実施						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	ガス気球アンケート調査事業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
11	百舌鳥古墳群への関心度	%	令和6年度	令和7年度	目標	目標 点検対象年度
			目標値	—	75	75 令和8年度
			実績値	—	92	
	当該指標を選定した理由	古墳群への関心が高まることで、価値理解が深まり、古墳群の適切な保全・管理や次代への継承につながると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	ガス気球利用者アンケートにおいて、「古墳群の関心が深まった」と答えた割合				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	人	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	—	25,890	60,000
	ガス気球搭乗者数		実績値	—	25,890	
	当該指標を選定した理由	ガス気球の搭乗者が増加することで、古墳群への関心を高めることに寄与すると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	ガス気球運行事業者による予測				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	ガス気球運行事業（観光企画課）	事業番号	008-096
-------	-----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	0	0	0	40,532	337
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（基金・事業者納付金）				39,181	
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源				1,351	337

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算				R7	予算		
	ガス気球アンケート調査業務	R7	予算	1,351	1,351		R7	予算		
		R8	予算	337	337		R8	予算		
	こども気球体験事業負担金	R7	予算	6,164	0		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		
	世界遺産保全活用推進基金積立金	R7	予算	33,017	0		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間		要求額	
----	----	--	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・令和2年度 ガス気球設置及び運行事業者決定 ・令和3年度 設置場所の基盤等の整備 ・令和7年10月 ガス気球試行運行及びこども気球体験事業の開始 ・令和7年11月、令和8年1月 ガス気球アンケート調査実施
	R8	・令和8年4月 ガス気球アンケート調査実施
	R9以降	・事務事業終了（予定）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		・ガス気球利用者の世界遺産の価値・魅力の理解度の変化や、気球運行による周辺環境への影響度合などを検証するため必要な経費を要求。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名		事業番号		
事務事業名	スポーツ施設等管理事業			文化観光	局	スポーツ部	部
担当部署名	文化観光		局	スポーツ部		部	スポーツ

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 有 有・無 有	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	2.人生100年時代の健康・福祉～Well-being～ ①ライフステージに応じたスポーツ・運動習慣の定着 スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者） 56.3%（2024年度） 目標値 70.0%（2030年度）	施策 （5）生涯にわたる多彩なスポーティーライフの実現 ①ライフステージに応じたスポーツ・運動習慣の定着 スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者） 56.3%（2024年度） 目標値 70.0%（2030年度）			
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール③すべての人に健康と福祉を ターゲット スポーツ・運動習慣定着による健康増進 — —	3.4			
3	関連計画	堺市スポーツ推進プラン							
4	事業開始年度	平成 18 年度		点検対象年度		令和 12 年度			
5	事業の実施主体	本庁、指定管理者							
6	事業の対象	施設利用者				対象数 -	単位 人		
7	事業の目的	こどもから高齢者まで、また、トップレベルをめざす人から健康増進を目的とする人まで、すべての市民がそれぞれのライフステージや関心、体力に応じて、自分らしいスタイルでスポーツ・運動に親しめる環境を整え、市民生活の質の向上をめざし、安全で快適なスポーツ環境を提供する。							
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（施設の貸出等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・自主事業に関する業務（スポーツ教室等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○堺市スポーツ施設情報システム管理業務 ・システムの円滑な運用を図り、施設の申込手続等、利用者の利便を向上 							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先	各施設指定管理者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定									
成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	人	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度		
大規模スポーツ施設利用者数		人		令和6年度 目標値 実績値 達成率	令和7年度 - - -	令和8年度 1,000,000 - -	令和12年度 1,000,000 - -		
当該指標を選定した理由		大浜体育館（大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館）、原池公園野球場（くら寿司スタジアム堺）及びサッカー・ナショナルトレーニングセンター（J-GREEN堺）における競技者だけでなく観戦を目的とした利用者を増加させることで、幅広い層がスポーツに関心を持つことができる環境の実現を図る。							
目標値の設定根拠・算出方法		対象施設の利用率実績から目標利用率の伸び率を令和6年度の利用者数実績に乗じた値							
活動指標(成果を上げるための手段)		単位	%	実績	実績見込み	目標	76.1		
大規模スポーツ施設利用率		人		令和6年度 目標値 実績値 達成率	令和7年度 - - -	令和8年度			
当該指標を選定した理由		利用率の向上により、利用者数の増加に寄与するため。							
目標値の設定根拠・算出方法		対象施設で目標として設定している施設利用率の平均値							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	スポーツ施設等管理事業	事業番号	008-015
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	885,547	901,383	966,963	1,029,759	1,074,788
	国支出金	20,739	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（）	269,021	316,051	346,267	443,153	368,249
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	595,787	585,332	620,696	586,606	706,539

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	929,847	518,868		R7	予算	5,295	0
14 事 業 費 内 訳	体育館の管理運営	R7	予算	971,908	638,147	スポーツ施設関連備品購入費	R8	予算	6,898	6,898
		R8	予算	40,489	13,660		R7	予算	5,928	5,928
	体育館の管理運営（修繕費）	R7	予算	40,489	6,001		R8	予算	6,411	6,411
		R8	予算	33,393	33,393		R7	予算	1,695	1,695
	委託料（除草業務、施設巡回業務等）	R7	予算	34,526	34,526		R8	予算	1,523	1,523
		R8	予算	7,920	7,920		R7	予算	299	299
	スポーツ施設情報システム使用料	R7	予算	7,924	7,924		R8	予算	270	270
		R8	予算	3,454	3,454		R7	予算	1,439	1,389
	業務端末機・街頭端末機借上料	R7	予算	3,450	3,450		R8	予算	1,389	1,389
		R8	予算	3,450	3,450					

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・指定管理者制度を導入したスポーツ施設の管理運営 ・堺市スポーツ施設情報システムの運用 ・次期指定管理者公募（初芝体育館等）
	R8	・指定管理者制度を導入したスポーツ施設の管理運営 ・堺市スポーツ施設情報システムの運用 ・次期指定管理者公募（金岡体育館等）
	R9以降	・指定管理者制度を導入したスポーツ施設の管理運営 ・堺市スポーツ施設情報システムの運用

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		・人件費、光熱水費及び物価の高騰の影響等により、スポーツ施設の管理運営に係る経費を増額要求。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	さかい利晶の杜管理運営事業				事業番号	008-002
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	②魅力ある地域資源を活かした優良な観光コンテンツの創出と充実			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	1人当たりの市内観光消費額			
		現状値	10,046円 (2024年度)	目標値	20,000円(2030年度)			
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
		現状値	—	目標値	—			
3	関連計画	堺観光戦略、堺文化芸術推進計画						
4	事業開始年度	平成 27 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
事業の概要								
5	事業の実施主体	指定管理者						
6	事業の対象	本市への来訪者及び市民				対象数 — 人		
7	事業の目的	千利休、与謝野晶子をテーマとする文化施設や堺観光の窓口としての観光案内施設、交通ターミナル機能などを有した文化観光拠点を形成する。これらの施設を中心として、市域内の集客資源等を結ぶ堺観光ネットワークを構築し、市内周遊への誘導を図ることで、都市魅力の向上及びまちのにぎわいの創出を図る。						
8	事業内容	○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（施設の貸出等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・文化芸術振興事業に関する業務（公演実施等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○施設の改修工事 ・安全に利用できるよう、経年劣化に伴う改修工事等を実施						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	指定管理者						
10	公民連携・協働事業	民間事業者による来訪者サービス施設と連携した集客						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	さかい利晶の杜（堺市立歴史文化にぎわいプラザ）年間有料来館者数	人	目標値	99,000	90,000	92,000
			実績値	55,344	74,723	
			達成率	56%	83%	
12	当該指標を選定した理由	施設の利用実態の把握、収益性の検討に有用な指標であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理者業務仕様書、指定管理者年度事業計画書で定めている目標設定。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	広報媒体への掲載件数	件	目標値	240	200	200
			実績値	160	289	
			達成率	67%	145%	
12	当該指標を選定した理由	施設及び実施事業の認知度向上の測定に適した指標であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理者業務仕様書、指定管理者年度事業計画書で定めている目標設定。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	さかい利晶の杜管理運営事業	事業番号	008-002
-------	---------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	216,852	221,637	216,748	222,828	222,328
	国支出金		294		0	0
	府支出金				0	0
	市債				0	0
	その他（基金等）	25,134	20,845	21,226	21,673	20,865
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0	0
	一般財源	191,718	200,498	195,522	201,155	201,463

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	221,650	199,977		R7	予算	12	12
14 事 業 費 内 訳	歴史文化にぎわいプラザ指定管理料	R8	予算	221,150	200,285	普通旅費	R8	予算	12	12
		R7	予算	400	400		R7	予算		
	千利休屋敷跡植栽等管理業務	R8	予算	400	400		R8	予算		
		R7	予算	88	88		R7	予算		
	千利休屋敷跡除草・清掃業務	R8	予算	88	88		R8	予算		
		R7	予算	668	668		R7	予算		
	太陽発電設備リース料	R8	予算	668	668		R8	予算		
		R7	予算	10	10		R7	予算		
	消耗品費	R8	予算	10	10		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

	R7まで	第3期の運営開始。
16	R8	指定管理者による施設の管理運営を継続。
	R9以降	指定管理者による施設の管理運営を継続。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	歳出については、施設の適切な維持管理のために必要となる指定管理料等の予算要求を行う。 歳入については、基金等を活用し、一般財源の縮減を図る。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	文化芸術推進事業				事業番号	008-028
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興			
		有・無	指標名	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）				
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値 60.0%（2030年度）		
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		有・無	指標名	—				
	無	現状値	—		目標値	—		
3	事業開始年度	令和3年度		点検対象年度	令和12年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市内外の将棋・美術・ヒストリックカー・音楽等の愛好者				対象数 -人		
7	事業の目的	本市が所蔵する美術作品やヒストリックカーの展示、公募美術展、阪田三吉名人を顕彰するための将棋大会及びMI-TEさかいでのミニコンサートなど、市民の文化芸術の鑑賞及び発表の機会を創出する。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○堺市展 市内外から広く美術作品を公募し、審査後、入賞・入選作品の展示会を年1回開催する。 ○堺市所蔵美術作品管理活用 堺市が所蔵する美術作品を適切に維持管理し、所蔵美術作品展を開催する。 ○阪田三吉名人杯将棋大会 阪田三吉名人の顕彰、地域文化や都市魅力向上のため将棋大会を実施する。 ○ヒストリックカー活用 ヒストリックカーを適切に維持・保管し、展示等を実施する。 ○アルフォンス・ミュシャ作品の管理等 アルフォンス・ミュシャ作品を適切な状態で保管し、計画的な修繕、燻蒸等を行う。 ○音楽文化推進事業 MI-TEさかい（堺市役所高層館21階展望ロビー）にて年4回、ミニコンサートを実施する。 						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先	委託業務の受注者						
10	公民連携・協働事業	-						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	堺市の文化的環境の向上					
	当該目標を設定した理由	市民の文化芸術の鑑賞・発表の機会を充実させることで、堺市の文化的環境の向上に繋がると考えるため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
	所蔵美術作品展、将棋大会、市展など実施事業の入場者	人	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値 9,000	9,000	9,000	
			実績値 6,086	9,000		
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、市民の文化芸術の鑑賞・発表する機会の充実に繋がると考えるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		実施事業の入場者				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	文化芸術推進事業	事業番号	008-028
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	38,508	22,794	35,070	41,199	36,544
		国支出金	20,000				
		府支出金					
		市債					
		その他（）	91	126	4,126	23,870	140
		受益者負担金(使用料、手数料等)	544	694	939	7,138	3,038
		一般財源	17,873	21,974	30,005	10,191	33,366

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		イベント等運営業務	R7	予算	14,596	3,620	会場等借上料	予算	R7	予算	1,254	310
			R8	予算	9,126	5,948		予算	R8	予算	1,254	1,254
		保管料	R7	予算	9,000	2,223	機械警備業務	予算	R7	予算	687	170
			R8	予算	10,280	10,280		予算	R8	予算	687	687
		物品等修繕料	R7	予算	6,334	1,564	謝礼金	予算	R7	予算	706	174
			R8	予算	5,957	5,957		予算	R8	予算	700	700
		通信運搬費	R7	予算	1,774	438	電気使用料	予算	R7	予算	365	90
			R8	予算	1,824	1,824		予算	R8	予算	390	390
		その他保険料	R7	予算	1,212	299	その他	予算	R7	予算	5,271	1,303
			R8	予算	1,212	1,212		予算	R8	予算	5,114	5,114

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	令和6年度に引き続き、竹工芸をテーマにした所蔵美術作品展を実施したほか、音楽文化推進事業については、21階展望ロビーのリニューアルに合わせて名称を刷新しただけでなく、一部を乳幼児とその保護者のみを対象に開催するなど、事業手法の見直しを図っている。
	R8	令和7年度に拡充していた所蔵美術作品展の予算規模を、令和6年度以前に戻して実施予定。
	R9以降	各事業について、事業方針も含めて費用対効果を見極める。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	前述のとおり、所蔵美術作品展の予算規模を、令和6年度以前に戻して実施予定。また、阪田三吉名人杯将棋大会や堺市展など、長く実施しているイベントについても事業手法を見直すほか、令和7年度に一部見直しを行ったMI-TEさかいコンサートについても、引き続き見直しを検討する。一方で、所蔵品の保管に要する固定経費の見直しを図るため、所蔵品管理のシステム化を進める。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国内都市交流事業				事業番号	008-031
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ③姉妹・友好都市や ASEAN諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール①パートナーシップで目標を達成しよう ターゲット	17.14, 17.16		
		寄与 する KPI	有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、ASEAN地域などとの連携促進			
		無	指標名	—	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	昭和 61 年度	点検対象年度		令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	東吉野村、種子島（西之表市、中種子町、南種子町）、田辺市と相互交流。	対象数		単位			
7	事業の目的	行政各分野における、本市と国内友好都市等との交流を深めることにより、お互いのまちの発展に資することを目的とする。						
8	事業内容	・東吉野村小学生社会見学の受け入れ ・種子島鉄砲まつりへの参加 ・堺まつりへの招待 ・東大寺サミット（東大寺の建立に関わった市町村で構成されるサミット）への参画（2年に1度開催。令和8年度は開催。）						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	国内友好都市の交流を深める					
	当該目標を設定した理由	国内友好都市の交流を深め、互いのまちを発展させるため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	国内都市交流回数	回	目標値 5	5	5	
			実績値 5	5		
			達成率 100%	100%		
	当該指標を選定した理由	各友好都市との人的交流を継続・深化させることで、交流を深めることができるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	各国内友好都市の祭り及び東吉野村の社会見学、堺まつりへの招待都市数を計上した。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	国内都市交流事業	事業番号	008-031
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位:千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	155	175	222	306	456
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	155	175	222	306	456

事業費の内訳

(単位:千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	272	272		R7	予算	R8	予算
	普通旅費	R7	予算	260	260		R7	予算	R8	予算
	通信運搬費	R7	予算	5	5		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	17	17		R7	予算	R8	予算
	有料道路通行料	R7	予算	19	19		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	19	19		R7	予算	R8	予算
	堺まつり観光案内施設入場料	R7	予算	10	10		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	10	10		R7	予算	R8	予算
	東大寺サミット開催負担金 (2年に1度開催)	R7	予算	0	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	150	150		R7	予算	R8	予算

債務負担行為

(単位:千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できる事業が限られたが、令和4年度より堺まつりが通常開催となり、令和5年度からは令和元年度以前の頻度での交流を行っている。
	R8	令和7年度と同規模での都市交流を実施する。
	R9以降	事業の継続実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		前年に引き続き各都市への旅費や堺まつりにおける観光案内施設入場料を計上した。 東大寺サミットは2年に1回の開催であるが、令和8年度は開催年のため開催負担金を計上した。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	堺市文化振興財団事業補助				事業番号	008-035
担当部署名	文化観光		局	文化国際	部	文化

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）			
		有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値	60.0%（2030年度）		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		寄与 する KPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		有・無	指標名	—	目標値	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺文化芸術推進計画						
3	事業開始年度	平成 6 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	公益財団法人 堺市文化振興財団						
6	事業の対象	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方			対象数 —	単位 人		
7	事業の目的	市民が身近に文化芸術に触れるこことできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、子どもの感性が磨かれ、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々で賑わうまちにする。						
8	事業内容	<p>(公財) 堺市文化振興財団が実施する以下の事業に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するためのこどもたちへの文化芸術の普及事業 ・障害や経済状況等の何らかの事情により文化芸術に触れる機会が少ない人を対象とした文化芸術の体験・鑑賞事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	公益財団法人 堺市文化振興財団						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	文化芸術のすそ野の拡大と、文化芸術の力を活用した社会的課題の解決					
	当該目標を設定した理由	すべての人が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出し、また文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図るため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
	社会包摂型事業の実施本数	本	目標値	25	25	25
			実績値	27	26	
			達成率	108%	104%	
	当該指標を選定した理由	すべての人が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出し、また文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図るため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化振興財団が主催する社会包摂型事業の事業数				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	事業番号	008-035
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13 財 源 内 訳	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	112,379	109,723	76,202	92,488	80,344
国支出金	1,809					
府支出金						
市債						
その他（ ）						
受益者負担金(使用料、手数料等)						
一般財源	110,570	109,723	76,202	92,488	80,344	

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	92,488	92,488		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	80,344	80,344					
	文化芸術振興事業	R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	平成6年4月 財団設立 文化芸術の振興に資する事業や社会包摂型事業の実施
	R8	文化芸術の振興に資する事業や社会包摂型事業の質の向上、拡充
	R9以降	文化芸術の振興に資する事業や社会包摂型事業の質の向上、拡充

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	「堺文化芸術推進計画」の重点的方向性及び重点的施策に基づき、文化芸術の振興に資する事業や社会包摂型事業の実施等を引き続き実施し、これまでの実績やノウハウを生かし、文化芸術活動のすそ野の拡大やこどもが文化芸術に触れる機会の拡充を図っていく。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 与謝野晶子顕彰事業の推進				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	事業番号	008-036
					文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）			
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値 60.0%（2030年度）		
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		寄与 する KPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
	—	無	現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	平成 9 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市内外の与謝野晶子・文学愛好者等				対象数 - 人		
7	事業の目的	与謝野晶子は本市が生んだ日本の近代文学を切り開いた歌人の一人であり、幅広い分野において多くの業績を残している。こうした晶子の業績・メッセージ・生き方について、広く市内外に発信し、その顕彰を行うことにより、堺の文化的特色の創出や市民の郷土愛の醸成を図る。						
8	事業内容	与謝野晶子を学び研究し、継続的に顕彰する文学研究家、歌人、愛好家等幅広い人材で組織された総合的な組織である与謝野晶子倶楽部が行う事業に対し助成を行う。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-						
9	主な支出先	与謝野晶子倶楽部（補助金）						
10	公民連携・協働事業	与謝野晶子の顕彰施設である、さかい利晶の杜と連携し事業を実施。						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	与謝野晶子の顕彰を通じた都市魅力の向上					
	当該目標を設定した理由	顕彰事業を通じ、堺ゆかりの先人の功績等を広く発信することが、都市魅力の向上に繋がると考えるため。				
	目標に対する実績	市政モニター調査で、与謝野晶子を含めた堺ゆかりの先人たちを世界に誇れる堺の歴史文化資源と考えてい				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
	与謝野晶子倶楽部事業への参加者 (短歌大会、各種講座)	人	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	8,000	13,000	
			実績値	12,727	13,000	
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、与謝野晶子の功績や生き方を知り、短歌への理解を深めていただくことに繋がると考えるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	短歌大会投稿者、各種講座参加者				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進	事業番号	008-036
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	1,413	1,450	1,250	1,306	1,306
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	内訳					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	1,413	1,450	1,250	1,306	1,306

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	1,236	1,236		R7	予算	R8	予算
	俱楽部補助金	R8	予算	1,236	1,236					
	消耗品費	R7	予算	32	32					
		R8	予算	32	32					
	旅費	R7	予算	33	33					
		R8	予算	33	33					
	費用弁償	R7	予算	5	5					
		R8	予算	5	5					
		R7	予算							
		R8	予算							

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	令和2年度から全国の高校生を対象としたさかい与謝野晶子青春の短歌大会を開始した。令和6年度以降、毎回約1万5千首の応募があり、全国有数の高校生向け短歌大会として定着している。また、若い世代に向けた公式SNSによる情報発信も引き続き行っている。
	R8	経年事業の実施手法の見直しなど、補助金の支出用途についてより効果的となるよう適正な指導を行う。また、俱楽部設立30周年を迎える記念事業も検討しているが、補助金額自体は据え置き、自己財源の獲得を促す。
	R9以降	各事業について、費用対効果を見極め、効果的効率的な運営を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	全国の高校生を対象とした青春の短歌大会や晶子入門講座を通して、晶子短歌の魅力や生き方などを広く発信する。また、与謝野晶子顕彰施設であるさかい利晶の杜と連携し、会員を含む多くの市民にとって与謝野晶子顕彰につながる事業を実施する。また、俱楽部設立30周年を迎えるにあたり、記念事業の実施を検討しているが、補助金の増額ではなく、自己財源の獲得により対応する。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	文化施設管理運営				事業番号	008-043
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		有	取組の方向性		①文化芸術の拠点としての新たな需要の創出			
		有・無	指標名		文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）			
		有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値	60.0%（2030年度）		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値		
2	関連計画	堺文化芸術推進計画						
3	事業開始年度	昭和40年度		点検対象年度	令和12年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、自由都市堺文化芸術まちづくり条例、堺市民芸術文化ホール条例、堺市文化会館条例、堺市立文化館条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	指定管理者						
6	事業の対象	文化施設利用者				対象数 約105万		
7	事業の目的	優れた舞台芸術を始め、多彩な芸術文化の鑑賞、創造、交流及び普及活動を促進することにより、市民文化の更なる向上を図り、魅力及び活力のある地域社会の形成並びに都市魅力の創造及び発信に資することを目的とする。						
8	事業内容	○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（施設の貸出等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・文化芸術振興事業に関する業務（公演実施等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○施設の改修工事 ・安全に利用できるよう、経年劣化に伴う改修工事等を実施						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	指定管理者、委託業者 他						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	文化施設の利用者数		人	目標値	1,319,000	1,500,000
				実績値	1,218,358	1,440,000
				達成率	92%	96%
12	当該指標を選定した理由		文化施設（フェニーチェ堺、梅・西・東・美原・中文化会館、文化館）の利用促進を図ることで、市民文化の向上や都市魅力の創造・発信等に寄与するため。			
	目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定人数			
	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績	実績見込み	目標
12	文化施設の稼働率			令和6年度	令和7年度	令和8年度
			人	目標値	74	76
				実績値	66	62
				達成率	89%	82%
	当該指標を選定した理由		稼働率の向上により、利用者数の増加に寄与するため。			
	目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定稼働率			

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	文化施設管理運営	事業番号	008-043
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	事業費 (a)	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求	
		国支出金	37,335	0	135	0	0
財源内訳	府支出金		0	0	0	0	0
	市債	248,900	118,900	79,600	168,300	536,100	
	その他（基金等）	110,837	128,427	39,606	300	300	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	8,760	9,258	10,607	10,549	11,017	
	一般財源	1,031,256	1,015,425	1,069,512	1,082,797	1,121,980	

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	
		R7	予算	448,009	448,009	R7	予算	69,951	69,951	
		R8	予算	448,009	448,009	R8	予算	69,951	69,951	
事業費内訳	堺市民芸術文化ホール管理運営業務	R7	予算	102,433	102,433	文化施設改修等工事	R7	予算	219,000	55,600
		R8	予算	102,433	102,433		R8	予算	586,768	59,568
	梅文化会館管理運営業務	R7	予算	86,203	86,203		R7	予算	6,428	1,528
		R8	予算	92,139	92,139		R8	予算	12,691	3,791
	西文化会館管理運営業務	R7	予算	121,269	121,269		R7	予算	106,689	96,140
		R8	予算	115,562	115,562		R8	予算	138,868	127,851
	東文化会館管理運営業務	R7	予算	95,651	95,651		R7	予算	6,313	6,013
		R8	予算	95,651	95,651		R8	予算	7,325	7,025

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8 ~ R9	要求額	534,880
----	----	---------	-----	---------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	フェニーチェ堺、梅・西・東・美原文化会館、文化館の管理運営。 施設營繕工事の実施（西文化会館空気調和設備更新工事、西文化会館舞台機構改修ほか工事など）
	R8	フェニーチェ堺、梅・西・東・美原文化会館、文化館の管理運営。 施設營繕工事の実施（西文化会館空気調和設備更新工事、西文化会館舞台機構改修ほか工事など）
	R9以降	フェニーチェ堺、梅・西・東・美原文化会館、文化館の管理運営。 施設營繕工事の実施（東文化会館文化棟ホール天井改修工事、東文化会館文化棟空気調和設備更新工事など）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	歳出については、施設の適切な維持管理のために必要となる指定管理料や工事施工費、備品購入費等の予算要求を行う。 歳入については、地方債等を活用し、一般財源の縮減を図る。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	アーツカウンシル運営				事業番号	008-045
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行ったと答えた人の割合（概ね1年以内）			
		有	現状値	48.5%（2025年度）	目標値	60.0%（2030年度）		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9		
		寄与 する KPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		有・無	指標名	—	目標値	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺文化芸術推進計画						
3	事業開始年度	令和3年度		点検対象年度	令和12年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	堺アーツカウンシル						
6	事業の対象	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方				対象数 4,000人		
7	事業の目的	文化芸術に関する専門知識を有する人材が領域横断的に支援を行うことで、歴史ある堺の文化を継承し、市民の文化活動の振興を図り、地域文化の創造に努める。また、文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図る。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○堺アーツカウンシルの運営 文化活動を行う個人や団体など多様な主体に対して堺アーツカウンシルが支援を実施する。 ○公募型補助金の運営 文化芸術の力を活用して、社会的課題の解決に資するような事業等に対して補助金を交付する。 ○堺市文化芸術審議会の運営 「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」第21条に基づき「堺文化芸術推進計画」の目標の達成度、効果等について検証及び評価を行う。 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	文化芸術活動を行う個人・団体						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標					
	文化芸術のすそ野の拡大と、文化芸術の力を活用した社会的課題の解決					
	当該目標を設定した理由	すべての人が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出し、また文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図るため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
	堺市文化芸術活動応援補助金への応募件数	件	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	90	90	90
			実績値	67	54	
	当該指標を選定した理由	堺市内での文化芸術の振興や社会的課題の解決に資する事業の広がりを評価するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化芸術活動応援補助金への応募件数				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	アーツカウンシル運営	事業番号	008-045
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

13 財 源 内 訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		決算		決算		決算		予算		予算要求	
	事業費 (a)	21,534		21,652		23,598		26,356		25,385	
	国支出金	2,522		2,956							
	府支出金										
	市債										
	その他 ()	527		250		215		0			
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	18,485		18,446		23,383		26,356		25,385	

事業費の内訳

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算	6,816	6,816		R8	予算		
	堺アーツカウンシル運営費	R7	予算	6,238	6,238		R7	予算		
	堺市文化芸術活動応援補助金	R8	予算	18,000	18,000		R8	予算		
		R7	予算	18,000	18,000		R7	予算		
		R8	予算	1,540	1,540		R8	予算		
	堺市文化芸術審議会	R7	予算	1,147	1,147		R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

15	期間	R8 ~ R9		要求額	(単位：千円)	
		R8	R9		18,000	

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	(R2年度)
		R3.1 堺アーツカウンシル設立
		R3.2 堺市文化芸術活動応援補助金の答申を受け、第2期堺文化芸術推進計画を策定
	R8	R3.3 堺市文化芸術活動応援補助金制度の創設
		(R3～7年度)
		・堺アーツカウンシルの専門人材による、堺市文化芸術活動応援補助金の採択者をはじめとする文化芸術活動をしている方への活動支援や、市民向け勉強会、交流会の開催
	R9以降	・堺市文化芸術活動応援補助金の募集及び審査
		・堺市文化芸術審議会による第2期堺文化芸術推進計画に係る検証・評価

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		堺市文化芸術活動応援補助金及び堺アーツカウンシルの取組については、更なる文化芸術活動のすそ野拡大と文化芸術の力を活用した社会的課題の解決に寄与すると考えられる。アーツカウンシル謝礼金について、前年度実績をふまえ必要額の要求としたため、前年度より予算額が減額となった。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 外国青年（国際交流員）招致事業				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	事業番号	008-021
					国際	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		有	取組の方向性		③姉妹・友好都市や ASEAN諸国をはじめとする各国との国際交流の強化			
		有・無	指標名		—			
	堺市SDGs 未来都市 計画	無	現状値		—	目標値		
2		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール①パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット		
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、ASEAN地域などとの連携促進				
		有・無	指標名		—			
		無	現状値	—	目標値	—		
3	関連計画	堺市国際化方針						
4	事業開始年度	平成 3 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	在住外国人を含む市民、本市職員、外国人賓客等				対象数 —		
7	事業の目的	地域レベルでの国際交流の推進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の生活環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び府内の人材育成を推進することを目的とする。						
8	事業内容	○国際交流員（CIR）を活用した業務 ・国際交流関係事務（通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接遇等） ・外国人市民への情報発信における翻訳・監修 ・本市職員に対する語学指導への協力 ・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言 ・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援 ※総務省・外務省・文部科学省の三省連携により実施されるJETプログラムに基づき、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）を通して、国際交流員（CIR）を招致（英語圏1名、中国圏1名）。						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
			件	目標値 44	43	39	
	国際交流員出務事業数		実績値 44	40	—	47	
	達成率 100%		93%	—	—	—	
12	当該指標を選定した理由		国際交流員が府内外問わず様々なイベント等に従事することで、地域レベルでの国際交流の推進や府内人材育成などの事業目的に寄与するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		国際交流員がイベント等に出務した件数を計上。過去の実績から目標値を設定。				
	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	行政資料等の翻訳、翻訳監修、通訳依頼数		件	目標値 130	134	135	
	当該指標を選定した理由		実績値 114	117	—	—	
	目標値の設定根拠・算出方法		達成率 88%	87%	—	—	
	当該指標を選定した理由		府内外からの依頼に基づき、幅広い分野での活動機会に国際交流員を派遣することで、地域住民等の異文化理解を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業	事業番号	008-021
-------	-----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)		10,710	11,072	10,730	11,711	13,420
国支出金		83				
府支出金						
市債						
内訳	その他（）	1,259	1,324	1,412	1,732	2,173
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	9,368	9,748	9,318	9,979	11,247

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	7,700	7,700		R7	予算	183	183
	国際交流員報酬	R8	予算	8,620	8,620	費用弁償（その他）	R8	予算	476	159
	建物借上料	R7	予算	1,356	0	自治体国際化協会負担金	R7	予算	184	184
	【公舎借上】	R8	予算	1,451	20		R8	予算	184	184
	共益費	R7	予算	96	0	渡航費用負担金	R7	予算	0	0
	【公舎借上】	R8	予算	96	0		R8	予算	277	277
	その他使用料及び賃借料	R7	予算	108	108	印刷製本費	R7	予算	214	0
	【公舎借上】	R8	予算	108	108		R8	予算	214	0
	外国青年（国際交流員）招致	R7	予算	1,200	1,200	その他（通信運搬費、通勤費等）	R7	予算	670	604
	事業正会員負担金	R8	予算	1,200	1,200		R8	予算	794	679

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	英語圏及び中国圏の国際交流員を2名招致
	R8	既存事業の継続実施
	R9以降	既存事業の継続実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	JETプログラムを通じて招致した国際交流員を活用し、国際交流関係事務（通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接遇等）や市民・学校向けの出前講座、2ヶ月に1度の外国語ニュースレターの発行等の継続実施をする。 また、SNSを用いた行政情報のタイムリーな発信やネイティブ視点での堺市の魅力発信等を行う。 上記についての所要経費について要求するものである。
		さらに、R8年度はJETプログラムの原則参加期間（3年間）を満了する年度に該当するため、新規国際交流員の任用等に係る費用の要求を行っている。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分 事務事業分類 事業番号	その他 A 一般事務事業 008-022		
	事務事業名		担当部署名						
	文化観光	局	文化国際	部	国際				

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無 有	戦略 取組の方向性	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ③姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	施策	(3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有・無 無	指標名 現状値	—	—	—		
		施策 との 関連	有・無 有	ゴール 取組	ゴール①パートナーシップで目標を達成しよう パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進	ターゲット	17.14, 17.16		
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無 無	指標名 現状値	—	目標値	—		
2	関連計画		第2期 堺市国際化方針						
3	事業開始年度		昭和 42 年度		点検対象年度		令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		海外姉妹・友好都市提携の締結（アメリカ・バークレー市、中国・連雲港市、ニュージーランド・ウェリントン市、ベトナム・ダナン市）						
事業の概要									
5	事業の実施主体		本庁、姉妹友好都市交流協会						
6	事業の対象		国際交流をしている堺市民、海外とのネットワーク構築や交流を希望する企業・団体等			対象数 —	単位 —		
7	事業の目的		海外姉妹・友好都市と文化・教育・経済・環境等の幅広い分野での交流を促進し、友好親善にとどまらないWin-Winの関係を構築する。また、ICTを活用したオンライン交流等、人の往来にとどまらない多彩な交流の輪を広げ、国際交流を担う市民の増加を図る。						
8	事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ■市民主体の交流事業について 各姉妹友好都市協会と連携し、市民の国際交流活動を支援し、オンライン交流等も取り入れた相互交流を展開 ・ウェリントン市との青少年交流（中高生を相互派遣し、教育交流を実施） ・姉妹・友好都市提携にかかる周年記念事業（5年又は10年周期で実施） ・姉妹・友好都市から訪問する代表団や経済団の受け入れ ・姉妹・友好都市交流団体が実施する事業の支援 ■都市間交流について ・教育、産業、環境等のSDGs達成に向けた幅広い分野での交流を推進し、双方がメリットを共有できる取組を実施 ・行政間のネットワークを活用し、企業・団体等の海外とのネットワーク構築、交流を支援 						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先								
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定																
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度									
	姉妹・友好都市交流事業開催数 (総数)		回	目標値 34	23	28	28									
				実績値 29	22											
				達成率 85%	96%											
12	当該指標を選定した理由		交流事業数が増加することにより、市民の国際理解の促進が図られ、事業目的に寄与すると考えられるため。													
	目標値の設定根拠・算出方法		周年記念事業を含んだ交流事業回数。過去の実績から目標値を設定。 【周年記念年度】 令和4年度：バークレー市（55周年） 令和5年度：連雲港市（40周年） 令和6年度：ウェリントン市（30周年）、ダナン市（5周年） 令和7年度：周年記念なし 令和8年度：周年記念なし													
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>実績 令和6年度</th> <th>実績見込み 令和7年度</th> <th>目標 令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値 480</td> <td>480</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>実績値 1,885</td> <td>480</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 393%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標値 480	480	513	実績値 1,885	480	
実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度														
目標値 480	480	513														
実績値 1,885	480															
達成率 393%	100%															
当該指標を選定した理由																
					本活動指標（事業参加者数）の増減は事業実施回数等（ニーズへの対応等）に影響することから、成果指標（事業実施総数）にも影響するため。											
					目標値の設定根拠・算出方法											

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	姉妹・友好都市交流事業	事業番号	008-022
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	1,424	2,282	5,898	8,472	7,069
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（国際文化観光基金）		131		520	488
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	1,424	2,151	5,898	7,952	6,581

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	504	504		R7	予算	0	0
14 事 業 費 内 訳	堺・パークレー協会 補助金	R7	予算	504	504	堺ウェリントン青少年交流事業(受入)	R7	予算	0	0
		R8	予算	504	504		R8	予算	504	504
	堺日中友好協会 補助金	R7	予算	504	504	日越文化交流フェスティバル	R7	予算	0	0
		R8	予算	504	504		R8	予算	250	250
	堺ウェリントン協会 補助金	R7	予算	504	504	ウェリントン市長来堺	R7	予算	280	0
		R8	予算	504	504		R8	予算	280	0
	日越文化交流フェスティバル 特別旅費	R7	予算	0	0	日越文化交流フェスティバル 謝礼金	R7	予算	0	0
		R8	予算	2,110	2,110		R8	予算	100	100
	堺ウェリントン青少年交流事業(受入) 自動車借上料	R7	予算	0	0	その他（普通旅費等）	R7	予算	6,680	6,440
		R8	予算	600	600		R8	予算	1,713	1,505

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	姉妹・友好都市の各協会と連携し、対面での事業実施や交流に加え、Zoomによるオンラインミーティング等ICTを活用した民間レベルの交流活動を支援。教育・産業・環境等、双方がメリットを享受できるよう姉妹・友好都市との交流を推進（堺市長とウェリントン市長やパークレー市長、ダナン市長とのWeb対談、連雲港市、ウェリントン市、連雲港市、ダナン市との姉妹友好都市協会・学生間のオンライン交流、「ジャパンフェスティバル・ウェリントン」、「日越文化交流フェスティバル」へのオンライン等による参加）
	R8	対面交流の再開：①堺市代表団のパークレー市訪問、パークレー市高校生の受入れ・パークレー市への堺市高校生派遣、親善使節団の派遣、ガールスカウト派遣・受入、ヤングピープルズ・シンフォニー・オーケストラによるフェニーチェ堺での公演・堺のこどもの交流、②ウェリントン市代表団の受入れ、堺市代表団のウェリントン市訪問（姉妹都市提携30周年記念事業）、ウェリントン市青少年交流事業（受入・派遣）、③連雲港市人民政府友好代表団の受入れ（友好都市提携40周年事業。堺まつりへの参加、堺日中友好協会会員との交流等）、④堺市代表団のダナン市訪問（友好都市提携5周年記念事業）
	R9以降	【市主催】 ウェリントン市長の来堺（予定）、堺ウェリントン青少年交流事業（受入）（予定）、堺市代表団のダナン市訪問（日越文化交流フェスティバル）（予定） 【姉妹友好都市協会主催】 パークレー市高校生の受入れ（予定） 【共通】 姉妹・友好都市との交流（継続実施）
17	要求のポイント	【市主催】 堺ウェリントン青少年交流事業（派遣）（予定） 【姉妹友好都市協会主催】 パークレー市への堺市高校生派遣（予定） 【共通】 姉妹・友好都市との交流（継続実施）
		令和6年度から再開した「堺ウェリントン青少年交流事業」（令和8年度はウェリントン市中学生の受入れ）、ウェリントン市長の来堺への受入れ及び堺市代表団のダナン市訪問（日越文化交流フェスティバル）に係る経費を計上している。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和6年度から再開した「堺ウェリントン青少年交流事業」（令和8年度はウェリントン市中学生の受入れ）、ウェリントン市長の来堺への受入れ及び堺市代表団のダナン市訪問（日越文化交流フェスティバル）に係る経費を計上している。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	多文化交流推進事業				事業番号	008-025
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	③姉妹・友好都市や ASEAN諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット 10.2		
		寄与 する KPI	有	取組	外国人との共生、多文化理解の促進			
		無	現状値	—	目標値	—		
		—	—	—	—	—		
2	関連計画	堺市国際化方針						
3	事業開始年度	平成 7 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	日本語教育の推進に関する法律、地域における多文化共生推進プラン（総務省）、堺市立多文化交流プラザ・さかい条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁、民間国際交流団体						
6	事業の対象	外国人市民および国際交流・多文化共生を推進する市民および団体・機関等			対象数 —	単位 —		
7	事業の目的	異なる文化的・歴史的背景を持つ人々が、様々な違いを認め合いながら、地域社会を支える担い手として活躍し、安全で安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現をめざす。						
8	事業内容	多文化共生社会の実現に向けて、多文化交流プラザ・さかいを拠点とした日本語学習支援や生活支援等、以下事業を実施 ■外国人生活支援の推進（主なもの） ・国際ボランティア活動・交流の推進（通訳、日本語指導、ホストファミリー） ・外国人相談業務（生活相談窓口：11言語対応、電話相談：8言語対応）、行政書士相談（毎月第3水曜日）、外国人のためのオンライン相談（奇数月） ・入門レベルの日本語教室開催及び民間団体運営の地域日本語教室への支援 ・多文化共生の実現に向けた研修会等の実施（「やさしい日本語」の普及、外国人にルーツを持つ子どもの支援セミナー） ・災害時外国人支援（近畿地域国際化協会との連携による防災研修の開催、ガイドブック発行等） ・堺市留学生交流事業実行委員会加盟大学の留学生への交流支援 ・ウクライナ避難民支援 ■多文化交流プラザ・さかい管理運営						
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先	補助金：市内の地域日本語教室、負担金：堺市留学生交流事業実行委員会						
10	公民連携・協働事業	地域日本語教室などボランティア等と協働で事業を実施						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度		
	外国人生活相談件数 (ボランティア通訳派遣依頼数含む)	件	目標値 700	700	700	700		
			実績値 773	818	—	—		
			達成率 110%	117%	—	—		
当該指標を選定した理由		外国人市民の相談に対応することが、日常の生活支援の充実を図る指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法		過去相談件数の実績値						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度			
	日本語教室（補助金対象）の学習者及びボランティア数	人	目標値 400	400	450			
			実績値 412	412	—			
			達成率 103%	103%	—			
当該指標を選定した理由		学習者に加え、日本語教室の運営は日本語ボランティアが支えており、「生活者としての外国人」の日本語を学ぶ環境を図る指標であるため						
目標値の設定根拠・算出方法		日本語教室に対して実施している実態調査の報告人数に基づき作成						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	多文化交流推進事業	事業番号	008-025
-------	-----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位:千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	16,354	13,271	14,183	15,931	15,595
	国支出金	1,371	1,405	1,142	1,632	1,743
	府支出金					
	市債					
	その他 (<small>自治体国際化協会助成金、ウクライナ避難民人道支援寄附金、国際文化観光基金</small>)	3,545	9,280	9,327	10,631	411
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	11,438	2,586	3,714	3,668	13,441

事業費の内訳

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	5,472	0	R7	予算	460	460	R8	予算
事業 費 内 訳	堺市立多文化交流プラザ・さかい 建物借上料	R8	予算	5,472	5,287	堺市立多文化交流プラザ・さかい 通信運搬費		R7	予算	44	44
	堺市立多文化交流プラザ・さかい 会議室等管理業務委託料	R7	予算	2,440	0	災害時外国人支援事業		R8	予算	44	44
		R8	予算	2,440	2,440	筆耕翻訳料		R7	予算	816	0
	民間非営利団体による日本語教室 開催事業補助金	R7	予算	1,650	1,650	ウクライナ避難民支援		R8	予算	330	0
		R8	予算	1,650	1,650	その他報償費		R7	予算	0	0
	堺市立多文化交流プラザ・さかい その他負担金共益費(警備・清掃・光熱水 費)	R7	予算	1,200	0	ウクライナ避難民支援		R8	予算	80	0
	外国人相談事業	R8	予算	1,200	1,200	筆耕翻訳料		R7	予算	3,166	1,514
	筆耕翻訳料	R7	予算	683	0	その他(消耗品費等)		R8	予算	3,142	2,352
		R8	予算	769	0						

債務負担行為

(単位:千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	・外国人市民のための相談業務(多言語) ・外国人市民向けの日本語教室の開催・地域日本語教室との連携・支援・「やさしい日本語」の普及促進 ・日本語ボランティア向け研修会の実施(外国にルーツを持つ子どもに対する理解促進等を含む) ・「災害時多言語支援センター」設置訓練 ・多文化交流プラザ・さかいの管理運営 ・ウクライナ避難民への支援業務
	R8	事業の継続
	R9以降	事業の継続

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	外国人受入環境整備交付金を活用し、外国人市民のための相談業務(多言語)や日本語教室の開催・開催支援等を継続実施する。また引き続きウクライナ避難民人道支援寄附金を活用し、ウクライナ避難民人道支援を行う。さらにやさしい日本語の普及促進等を図り、外国人市民が安心・安全に暮らせる環境づくりを進める。上記についての所要経費について要求するものである。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業				事業番号	008-026
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ③姉妹・友好都市やアセアン諸国をはじめとする各国との国際交流の強化	施策 (3) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール①パートナーシップで目標を達成しよう ターゲット	17.14, 17.16		
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などとの連携促進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市国際化方針						
3	事業開始年度	平成 20 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							
事業の概要								
5	事業の実施主体	本府及び堺・アセアン交流促進委員会						
6	事業の対象	【堺側】アセアン諸国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生				対象数 —		
7	事業の目的	多文化共生のまちづくりの推進、アセアン諸国との交流を通じた国際感覚豊かな人材育成、アセアン諸国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流促進、堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワーク形成を行うことにより、海外の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。						
8	事業内容	○アジア諸国との交流 ・外国公館（在関西領事館等）連携事業の実施 ○堺・アセアン交流促進委員会 ・①アセアン諸国とのオンライン交流の実施（小～大学各世代の年齢を通じた交流）、②関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座の実施、③アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真の公募及び作品展示（入選作品50点程度）、④堺観光コンベンション協会等他団体主催の催しに参画し、アセアンの音楽・舞踊等の伝統文化を紹介、⑤語学・料理・工芸等の各國文化講座の開催、⑥アセアン諸国の映画上映会の開催、⑦日本アセアンセンター等と連携したアセアン諸国の産業や経済面の現状に関するセミナーの開催、⑧民間大使プログラムの実施、⑨海外の大学生等に日本文化を体験してもらうプログラムの実施など。 ○共通 ・HP及びfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	堺・アセアン交流促進委員会						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	アセアン諸国との交流事業開催数	回	目標値	50	45	45	
			実績値	41	37		
			達成率	82%	82%		
	当該指標を選定した理由	アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流が事業目的に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	アセアン諸国との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における事業開催数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	アセアン諸国との交流事業参加者数	人	目標値	5,000	5,230		
			実績値	6,847	4,300		
			達成率	137%	82%		
	当該指標を選定した理由	アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	アセアン諸国との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における交流者数					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位:千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	3,325	3,859	2,966	4,107	4,078
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（国際文化観光基金（国際課））				529	529
	受益者負担金（使用料、手数料等）					
	一般財源	3,325	3,859	2,966	3,578	3,549

事業費の内訳

(単位:千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目		年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	3,500	3,500	通信運搬費	R7	予算	36	0	
	堺・アセアン交流促進委員会負担金	R8	予算	3,500	3,500		R8	予算	36	0	
	謝礼金	R7	予算	22	0		R7	予算	55	0	
		R8	予算	22	0		R8	予算	55	0	
	費用弁償（その他）	R7	予算	49	30	筆耕翻訳料	R7	予算	185	0	
		R8	予算	49	30	会場等借上料	R8	予算	185	0	
	普通旅費	R7	予算	53	19	研修会等参加負担金	R7	予算	29	29	
		R8	予算	53	19		R8	予算	0	0	
	消耗品費	R7	予算	26	0	その他	R7	予算	152	0	
		R8	予算	26	0		R8	予算	152	0	

債務負担行為

(単位:千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	堺・アセアン交流促進委員会事業（旧：堺・アセアンワーキング実行委員会事業）の実施（平成21年度～） ダナン市友好都市交流事業の実施（平成30年度～令和5年度） ※ダナン市友好都市交流事業については姉妹・友好都市交流事業に再編（令和6年度～）
	R8	堺・アセアン交流促進委員会事業の実施、アセアン諸国の外国公館との連携
	R9以降	既存事業の継続実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・堺・アセアン交流促進委員会負担金については、昨年度と同等額を要求する。また、堺・アセアン交流促進委員会の事務局として、実施内容及び手法の見直し等を検討し、事業の効果性を高める。 ・アセアン諸国の周年記念年度をとらえた事業を検討する等、アセアン諸国の外国公館等との関係深化及び連携強化を促進し、アセアン諸国との幅広い分野での国際交流を推進する。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	町家活用推進事業				事業番号	008-058
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用	部	文化財	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上 ①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数			
		有	現状値	848万人（2024年度）		目標値 1200万人(2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット		
		寄与 する KPI	無	取組	—			
2	関連計画	堺市歴史的風致維持向上計画						
3	事業開始年度	平成 14 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化財保護法、堺市文化財保護条例、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、堺市立町家歴史館条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市民及び入館者(令和6年度実績33,098名)				対象数 —		
7	事業の目的	堺の類まれな歴史文化資源である町家歴史館（鉄炮鍛冶屋敷・山口家住宅・清学院）及び関連する資料について、市内外において広くその文化財的価値を共有することにより当該価値を後世に継承する。町家歴史館及び関連する資料等を活用した各種事業の実施により、同館及び環濠エリアへの誘客促進を図る。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（受付、広報等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・堺の歴史文化を活かした誘客促進事業の実施（各種イベントの実施等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○直営業務 ・企画展の実施 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	指定管理者・委託業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	人	目標値	50,000	51,500		
		実績値	33,098	30,528		
	当該指標を選定した理由	環濠エリア内で来訪魅力を創出する施設でありKPIとの関連を有することに加え、本市所有の文化財公開施設であり明確な数値の計測が可能であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理者が設定した目標①年間入館者数50,000人、②50,000人を基準として翌年度以降毎年3%増とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	回	目標値	338	338		
		実績値	1,102	1,000		
	当該指標を選定した理由	文化財施設としての公開だけではなく、季節毎の展示とイベント等を組み合わせることで、来館者数の増加が見込まれるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	歴史講演会、体験事業、季節ごとの建具入替、展示・イベント等の実施回数				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	町家活用推進事業	事業番号	008-058
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位:千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	251,888	106,892	45,255	47,307	43,638
	国支出金	120,942	33,505		0	0
	府支出金	0	0		0	0
	市債	92,000	14,500		0	0
	その他（寄附金等）	16,760	22,677	18,496	5,514	2,797
	受益者負担金(使用料、手数料等)	782	257		0	0
	一般財源	21,404	35,953	26,759	41,793	40,841

事業費の内訳

(単位:千円)

	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算				R7	予算		
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬	R7	予算	2,021	2,021	展示資料修復・製作	R7	予算	3,127	0
		R8	予算	2,144	2,144		R8	予算	200	0
	費用弁償（通勤費）	R7	予算	431	431	鉄炮鍛冶屋敷企画展示パネル等作成業務	R7	予算	600	0
		R8	予算	156	156		R8	予算	600	0
	謝礼金	R7	予算	502	502	鉄炮鍛冶屋敷資料保存総合的病害虫管理業務委託	R7	予算	770	670
		R8	予算	158	158		R8	予算	770	0
	登録有形文化財清学院土地賃借料	R7	予算	472	472	鉄炮鍛冶屋敷庭園苔撫育業務	R7	予算	0	0
		R8	予算	472	472		R8	予算	425	0
	町家歴史館管理運営業務 (指定管理費)	R7	予算	37,085	37,085	その他（需用費、工事請負費など）	R7	予算	2,299	612
		R8	予算	37,085	37,072		R8	予算	1,628	839

債務負担行為

(単位:千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・鉄炮鍛冶屋敷の資料の保管・展示・調査研究 企画展（年2回）や、青龍鉢人形の修復（2ヶ年計画）等を実施 ・堺の歴史文化を活かした誘客促進事業の実施
	R8	・鉄炮鍛冶屋敷の資料の保管・展示・調査研究 第5回及び第6回鉄炮鍛冶屋敷企画展の開催（総合・海防） ・山口家住宅施設解説パネルの更新・英語併記 ・堺の歴史文化を活かした誘客促進事業の実施
	R9以降	・鉄炮鍛冶屋敷の資料の保管・展示・調査研究 企画展等を開催 ・堺の歴史文化を活かした誘客促進事業の実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和5年8月から指定管理での運営が開始した町家歴史館（山口家住宅・清学院・鉄炮鍛冶屋敷）について、民間のノウハウやネットワークを活かして公開・活用をすすめる一方で、鉄炮鍛冶屋敷に関する資料の保管・展示・調査研究は市直営の事業として行う。
		・鉄炮鍛冶屋敷に関する資料保管については、IPM（総合的有害生物管理）のほか、展示資料の計画的な修復等を行う。 ・展示については、万博のレガシーを活かしつつ、一般的に関心の高いテーマで年2回程度の企画展示等を行い万博ファン含めた誘客につなげる。 第5回企画展【アフター万博企画】「堺総通と鉄炮—海外に雄飛した技術—」（仮称） 第6回企画展【NHK大河ドラマ企画】「幕末の海防と井上閑右衛門」（仮称） ・関西大学と連携し、継続して資料調査や啓発の取組等を進める。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	世界遺産保存活用事業				事業番号	008-068
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用	部	世界遺産	

I. 基本情報

事業の位置付け												
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1)類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上 ①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ						
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数							
		有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)						
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット 11.4						
		寄与 する KPI	有	取組	百舌鳥古墳群の保全							
		有・無	指標名	—	目標値	—						
		無	現状値	—	目標値	—						
2	関連計画											
3	事業開始年度		平成 17 年度	点検対象年度	令和 12 年度							
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)											
事業の概要												
5	事業の実施主体	本庁										
6	事業の対象	市民、来訪者				対象数 —						
7	事業の目的	世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値と維持保存に対する理解と意識を高める取組を通じて、古墳群を人類共通の資産として保存・継承し、また、来訪者が周遊できる環境を整備することで、古墳群を活かした都市魅力の向上を推進する。										
8	事業内容	○他市や民間企業、外部機関等との連携 ・大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに構成する「百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議」や「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会」、民間企業等と連携し、百舌鳥・古市古墳群の更なる情報発信や保存意識の向上に取り組む。 ・資産の保全状況等について、ユネスコ・イコモスへ報告するためのモニタリングを実施。 ○古墳サミットの開催 ○古墳群の周遊促進 ・大仙公園周辺において、来訪者の安全確保のため、人的警備を実施。 ・スマートフォン・タブレット向け周遊支援アプリを保守・運用。										
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載												
9	主な支出先	委託業務の受注業者、世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会、百舌鳥古市古墳群世界遺産保存活用会議										
10	公民連携・協働事業											

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
	講演会等の参加者数		人	目標値 2,300	2,500	2,500		
			実績値 2,741	2,500	2,500	2,500		
			達成率 119%	100%	—	—		
12	当該指標を選定した理由		講演会等事業に多くの方々に参加していただくことが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法		講演会等の参加者数					
	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
12	講演会、PRイベント等の開催数		回	目標値 5	5	5		
			実績値 5	6	6	5		
			達成率 100%	120%	—	—		
	当該指標を選定した理由		情報発信の機会を設けることが、古墳群の価値や魅力に対する理解を深めることに繋がるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法		開催予定している講演会等の回数					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	世界遺産保存活用事業	事業番号	008-068
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	72,577	136,271	37,577	43,498	48,830
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（財産収入、寄附金、繰入金）	47,608	111,891	37,544	13,575	15,861
		受益者負担金（使用料、手数料等）					
		一般財源	24,969	24,380	33	29,923	32,969

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		会計年度任用職員報酬、期末手当、費用弁償（通勤費）	R7	予算	6,590	6,590	百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議負担金	R7	予算	10,275	10,275	
			R8	予算	6,942	6,942		R8	予算	10,421	10,421	
		雑踏警備委託料	R7	予算	7,326	7,326	謎解きイベント（報償費、委託料、使用料及び賃借料）	R7	予算	2,340	0	
			R8	予算	10,903	10,903		R8	予算	8,830	0	
		堺市世界遺産保全活用推進事業補助金	R7	予算	1,400	0	百舌鳥古墳群周遊アプリ運営委託料	R7	予算	957	957	
			R8	予算	1,400	0		R8	予算	0	0	
		世界文化遺産地域連携会議負担金	R7	予算	40	40	世界遺産登録石碑設置工事	R7	予算	5,000	0	
			R8	予算	40	40		R8	予算	0	0	
		百舌鳥・古市古墳群世界遺産協議会負担金	R7	予算	618	618	その他	R7	予算	8,952	4,117	
			R8	予算	618	618		R8	予算	9,676	4,045	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	世界遺産暫定一覧表記載（H22）、登録推薦書（原案）作成（H24～H29）、国内推薦資産資産に選定、推薦書をユネスコに提出（H29）、イコモスによる審査・現地調査（H31）、イコモスによる登録勧告、世界遺産委員会で登録（R1）、古墳群の保全意識の醸成（R2～）
	R8	市民講座等の市民を対象としたイベントの開催、保存活用会議でのPR事業などにより古墳群の保全意識の醸成を図る。
	R9以降	大阪府、羽曳野市、藤井寺市と連携し、古墳群の保全意識の醸成を図る。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		・市民向けの講座の開催や大阪府、羽曳野市及び藤井寺市で構成する保存活用会議のPR事業の実施により、古墳群の更なる価値理解の促進や保全意識の醸成を図る。羽曳野市、藤井寺市と共同で資産の保存活用事業や来訪者の周遊促進事業を行う。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	百舌鳥古墳群等管理事業				事業番号	008-094
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用	部	世界遺産	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上 ①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数			
		有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット 11.4		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	百舌鳥古墳群の保全			
		有	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	史跡百舌鳥古墳群保存活用計画、史跡百舌鳥古墳群整備基本計画、堺市歴史的風致維持向上計画						
3	事業開始年度	令和 2 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化財保護法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市民、来訪者				対象数 単位		
7	事業の目的	本市が所有する古墳と史跡黒姫山古墳歴史の広場を適切に維持管理し、さらに整備・活用することによって、歴史文化都市としてのアイデンティティーを確立し、本市の魅力向上を図る。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 百舌鳥古墳群等の維持管理 ・所管する古墳や史跡黒姫山古墳歴史の広場の除草・樹木剪定や修繕等、維持管理を行う。 ○ 百舌鳥古墳群の整備 ・史跡百舌鳥古墳群整備基本計画（第2期）に基づき、百舌鳥古墳群を整備する。 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	委託業務の受注業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	所管する古墳の適切な維持管理		基	目標値 10	10	10	
				実績値 10	10		
				達成率 100%	100%	10	
	当該指標を選定した理由	適切な維持管理を行うことにより、古墳の保存や来訪者への価値伝達を促進させるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	所管する古墳の数					
	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	整備する古墳の数		基	目標値 2	2	2	
				実績値 1	1		
				達成率 50%	50%		
	当該指標を選定した理由	古墳の整備は歴史文化都市としての本市の魅力向上に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	整備基本計画に位置付けられる古墳の数（第2期整備対象）					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	百舌鳥古墳群等管理事業	事業番号	008-094
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	事業費 (a)	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求	
		国支出金	3,249	467	30,808	3,500	1,000
財源内訳	府支出金		0	0	0	0	0
	市債		0	220	47,500	3,800	3,600
	その他（）		0	0	48,215	6,900	6,427
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0	0	0	0	1,650
	一般財源		30,156	30,309	0	23,017	23,890

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
			R7	予算	2,721	2,721		R7	予算	0	0
委託料	黒姫山古墳歴史の広場管理業務	R8	予算	3,117	3,117		黒姫山古墳歴史の広場環境整備	R8	予算	4,000	400
	黒姫山古墳ガイダンス施設維持管理等経費	R7	予算	1,279	1,279		工事	R7	予算	6,624	6,624
		R8	予算	1,253	1,253		会計年度任用職員報酬、期末手当、費用弁償（通勤費）	R8	予算	7,544	6,994
	所管古墳環境整備業務委託料	R7	予算	13,300	10,300		寺山南山古墳基本設計業務委託料	R7	予算	6,000	0
		R8	予算	14,300	10,300			R8	予算	0	0
	長塚古墳環境整備業務委託料	R7	予算	0	0		百舌鳥古墳群総合解説板設置	R7	予算	3,000	0
		R8	予算	2,000	0		工事	R8	予算	0	0
	「堺の文化財百舌鳥古墳群」作成業務	R7	予算	0	0		その他経費（消耗品費、手数料など）	R7	予算	4,293	2,093
		R8	予算	1,672	22			R8	予算	2,681	1,804

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・寺山南山古墳整備事業（現況測量・基本設計） ・黒姫山歴史の広場ガイダンス施設LED化工事 ・所管古墳の環境整備の実施（除草、伐採等）
	R8	・長塚古墳環境整備事業（墳丘裾保護） ・黒姫山歴史の広場名称サイン設置工事 ・所管古墳の環境整備の実施（除草、伐採等）
	R9以降	・寺山南山古墳整備事業（実施設計・工事） ・所管古墳の環境整備の実施（除草、伐採等）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・長塚古墳を保護するため、樹木を伐採し、墳丘裾に盛土を行う。 ・本市の豊かな古墳文化を紹介するため、百舌鳥古墳群をはじめとする市内の古墳の解説冊子を作成する。 ・老朽化により撤去した「史跡黒姫山古墳歴史の広場」の名称サインを新たに設置する。 ・所管する古墳について、増加する自然災害による古墳の損傷や周辺住宅等への被害が発生しないよう、適切な環境整備を実施する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	百舌鳥古墳群ビターセンター管理運営等事業				事業番号	008-097
担当部署名	文化観光		局	歴史遺産活用	部	世界遺産

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上 ①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ		
				取組の方向性				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数			
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値 1200万人(2030年度)		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット 11.4		
				取組	百舌鳥古墳群の保全			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
				現状値	—	目標値 —		
3	事業開始年度		令和 2 年度		点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市民、来訪者				対象数 単位		
7	事業の目的	市民や来訪者などに百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解していただき、古墳群の保護意識を醸成する。また、古墳群を堺の魅力として国内外に情報発信することで、都市ブランドの向上をめざす。						
8	事業内容	○百舌鳥古墳群ビターセンター管理運営 ・百舌鳥古墳群の価値や魅力を伝達するゲートウェイ施設として、適切な維持管理を実施。 ・入館者増に向けたシアターのPRや物販における古墳グッズの充実などの取組を実施。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	委託業務の受注業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	来訪者数	人	目標値 100,000	150,000	120,000	120,000
			実績値 92,348	119,177		
			達成率 92%	79%		
	当該指標を選定した理由	ビターセンター来訪により古墳に対する理解が深まり、基本計画KPI達成等に寄与すると考えるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度は、大阪・関西万博への想定来場者数を踏まえた高い目標値を設定。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	周知にかかる取組件数	件	目標値 5	5	5	
			実績値 5	7		
			達成率 100%	140%		
	当該指標を選定した理由	周知により来訪者が増加、古墳の情報発信の機会が増加すると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	広報さかいへの掲載依頼、イベント開催に合わせたホームページ更新によるPR実施など。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	百舌鳥古墳群ビジターセンター管理運営等事業	事業番号	008-097
-------	-----------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	12,348	12,347	16,682	27,434	26,135
	国支出金					
	府支出金					
	市債				1,800	3,000
	その他（基金繰入金等）	1,065	1,291	1,372	5,912	4,050
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0	
	一般財源	11,283	11,056	15,310	19,722	19,085

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	2,508	2,258		R7	予算	300	300
14 事 業 費 内 訳	光熱水費	R8	予算	2,436	2,193	百舌鳥古墳群ビジターセンター植 栽管理業務委託料	R8	予算	300	300
		R7	予算	292	292		R8	予算	757	757
	施設等修繕料	R8	予算	292	292	百舌鳥古墳群ビジターセンター設 備保守点検等委託料	R7	予算	794	794
		R7	予算	12,439	11,277		R8	予算	0	0
	百舌鳥古墳群ビジターセンター管 理運営業務委託料	R8	予算	13,759	12,252	百舌鳥古墳群ビジターセンターガラ ス戸取替工事	R7	予算	2,300	0
		R7	予算	3,154	3,154		R8	予算	2,500	700
	百舌鳥古墳群ビジターセンター清 掃業務委託料	R8	予算	1,489	1,489	百舌鳥古墳群ビジターセンター電 気設備更新工事	R7	予算	4,000	1,000
	百舌鳥古墳群ビジターセンター機 械警備業務委託料	R7	予算	354	354	その他	R7	予算	5,130	630
		R8	予算	362	362		R8	予算	403	403

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	16,000
----	----	-------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	令和元年8月に（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設の計画を中止。その後、既存施設を活用してガイダンス機能を整備するため、改修工事及び展示製作設置等業務に着手した。百舌鳥古墳群ビジターセンターとして令和3年3月にオープンし、以降はビジターセンターの管理及び運営を実施。
	R8	ビジターセンターの管理及び運営を実施。
	R9以降	ビジターセンターの管理及び運営を実施。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群」のゲートウェイとして、古墳群が有する歴史的価値や魅力を来訪者へ伝えられるよう、百舌鳥古墳群ビジターセンターの管理及び運営に係る費用の予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	普及広報事業			事業番号		008-061	
担当部署名	文化観光		局	歴史遺産活用	博物館	部	学芸
							課

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策	(1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上		
			取組の方向性		①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ				
	寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数					
		有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)			
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9		
			取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信					
	寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			現状値	—	目標値	—			
3	事業開始年度	昭和 55 年度			点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	博物館法・文化財保護法							
事業の概要									
5	事業の実施主体	堺市博物館							
6	事業の対象	市民及び本市への来訪者				対象数	単位		
						—	—		
7	事業の目的	堺の歴史・文化の発信拠点として堺市博物館の魅力を広報して来館を促し、堺の歴史・文化・伝統を知ってもらうことで、市民の郷土愛の醸成を図ることを目的とする。							
8	事業内容	○普及事業 ・歴史史料に興味を持つ方に対し、古文書講習会を実施 ・小・中学生向けの体験学習会を開催 ・夏休み期間中に未就学児と小・中学生及び保護者等を対象としたミュージアム・パス＆スタンプラーを実施 ・博物館ボランティア制度の運営 ・ミュージアムグッズを作成 ○広報事業 ・SNSを用いたPR活動 ・企画展ごとに広報関係資料を作成 ・『堺市博物館研究報告』を作成 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	委託業務の受注者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
成果指標(目的の達成状況を測定)		単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11 入館者数		人	目標値	140,000	155,000	160,000	193,000
			実績値	130,743	127,000		
			達成率	93%	82%		
当該指標を選定した理由		広報活動を行い観覧者数が増加することで、大仙公園への来訪者数の増加に貢献できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和7年度が12ヵ月開館であったとして入館者数を160,000人と試算。令和8年度は同数維持を目標。					
12 活動指標(成果を上げるための手段)		単位		実績	実績見込み	目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
体験学習会・古文書講習会の開催回数		回	目標値	18	18	18	
			実績値	21	19		
			達成率	117%	106%		
当該指標を選定した理由		堺の歴史・文化に触れていただくため、また、観覧者数の増加に繋がることから、休日・祝日等を中心に体験学習会や古文書講習会を開催している。					
目標値の設定根拠・算出方法		休日・祝日等を中心とした日程で、現状の職員数で実施可能な回数を設定。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	普及広報事業	事業番号	008-061
-------	--------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト										
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
		決算	決算	決算	予算	予算要求				
財 源 内 訳	事業費 (a)	3,248	3,824	4,485	8,998	6,147				
	国支出金									
	府支出金									
	市債									
	その他（基金繰入金、物品売払収入）	1,690	1,025	1,000	4,080	500				
	受益者負担金（使用料、手数料等）									
一般財源		1,558	2,799	3,485	4,918	5,647				
事業費の内訳										
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源		
	報償費	R7	予算	136	136	パンフレット等作製・配布業務	R7	予算	1,000	1,000
		R8	予算	80	80		R8	予算	500	500
	旅費	R7	予算	116	116	冊子等作製業務	R7	予算	480	0
		R8	予算	116	116		R8	予算	700	200
	需用費	R7	予算	660	660	ミュージアムグッズ作製業務	R7	予算	2,000	0
		R8	予算	546	546		R8	予算	1,500	1,500
	広告料	R7	予算	1,500	1,500	各業務委託料	R7	予算	2,500	900
		R8	予算	1,500	1,500		R8	予算	500	500
	その他役務費	R7	予算	166	166	使用料及び賃借料	R7	予算	440	440
		R8	予算	175	175		R8	予算	530	530
債務負担行為							(単位：千円)			
15	期間	R ~ R		要求額						

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	・大阪・関西万博の開催に合わせ、日本語を母国語としない方にも展示を楽しんでもらいやすくするための多言語音声ガイドアプリの導入を行った。 ・SNSや新聞広告等による広報活動をタイミングよく行うことで、市内外からの来館者の誘致につなげた。 ・市内外の幼稚園から小中学生を対象とした体験学習会や、大人向けの古文書講習会やフォーラムを開催した。内容については楽しく学べるよう、常に工夫・改善を凝らして実施することで、堺の歴史文化に興味、関心を持つもらうことができ、体験会等を通して家庭内への広がりにより、普段博物館に訪れることがない層へのアプローチにもつながった。 ・平成26年度から継続して実施している「さかいミュージアム・パス＆スタンプラリー」事業を、令和7年度も市内文化施設と連携して実施し、小・中学校の夏休み期間中に堺の歴史文化に触れる機会を提供した。
R8	・体験学習会や講演会の内容については細かく見直し、より効果的・効率的に実施できるようにプラッシュアップやスクラップ＆ビルドを行う。また、SNS等、ターゲットに効果的に届く手法を検討し、プロモーションを行う。
R9以降	・令和8年度の見直しにもとづき、より効果的・効率的な普及広報事業を実施する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	効果的な普及教育活動に向け内容を精査し予算を要求する。 ・「パンフレット等作製・配布業務」は、令和7年度の決算額に基づいて減額した。 ・「冊子等作製業務」は、堺市博物館研究報告の発行時期を変更するため、令和7年度の発行は取りやめ、令和7年度・8年度の合併号とするため増額した。 ・令和7年度に多言語音声ガイドアプリを導入し、ガイド機器の使用から移行していく方向が決まった。「使用料及び賃借料」は、アプリの使用料である。「各種業務委託料」のうち、機器のメンテナンス費として毎年かかっていた30万円を減額した。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名	事業番号		008-063		
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用 博物館	部	学芸	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略 取組の方向性	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～ ①類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上	施策 (1)類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上		
	寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数				
		有	現状値	848万人（2024年度）	目標値	1200万人(2030年度)		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール 取組	ゴール(8)働きがいも経済成長も 茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信	ターゲット 8.9		
	寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	昭和 55 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	博物館法・文化財保護法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	堺市博物館						
6	事業の対象	市民及び本市への来訪者			対象数	単位		
					—	—		
7	事業の目的	堺の通史を示す常設展示や多様なテーマによる企画展・スポット展示等を通して、市民及び来訪者に堺市の歴史・文化を紹介することで、都市魅力の創出を図る。また、魅力的な企画展等を開催することで堺への集客促進や来館者増に寄与することを目的とする。						
8	事業内容	堺市博物館及びさかい利晶の杜では、多くの来訪者を堺市に呼び込むことを目的として以下の事業を実施する。（①～⑤は堺市博物館。⑥・⑦はさかい利晶の杜） ①企画展「昭和の記憶（仮称）」（4月1日～6月中旬） ②企画展「ペーパークラフトの世界（仮称）」（6月中旬～9月上旬） ③企画展「堺の刃物と食文化（仮称）」（9月中旬～12月中旬） ④企画展「昔のくらし（仮称）」（12月下旬～2月中旬） ⑤企画展「天神信仰（仮称）」（2月下旬～5月上旬） ⑥企画展「堺に伝わる書画の逸品（仮称）」（4月下旬～6月初旬） ⑦企画展「咲き誇る女性文学者たち（仮称）」（11月上旬～12月下旬）						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	委託業務の受注者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	博物館の満足度	特別展・企画展や常設展示の質的な成果を測るため、来館者の満足度を成果指標とする。満足度の測定は、堺市博物館来館者へのアンケートの実施による。（令和6年度に新たに目標値を設定）	目標値の設定根拠・算出方法	実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
				目標値	90	90
12	特別展・企画展等の開催回数 (さかい利晶の杜開催分を除く)	来館者アンケート（常設展示および企画展・特別展の満足度）より算定	活動指標(成果を上げるための手段)	実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
				目標値	5	5
	当該指標を選定した理由	観覧者の増加を図るために魅力ある特別展・企画展等の開催が必須のため。（さかい利晶の杜を除くのは、当該施設が大仙公園エリアの来訪者数に関係しないため。）	目標値の設定根拠・算出方法	実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
				実績値	2	5
	当該指標を選定した理由	年度当初の事業計画（展覧会等の開催計画）に沿った特別展・企画展等の開催回数	目標値の設定根拠・算出方法	達成率	100%	100%

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	展示事業	事業番号	008-063
-------	------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト									
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
財 源 内 訳	事業費 (a)	17,025	21,769	14,781	17,209	24,921			
	国支出金	3,176	5,864	731					
	府支出金								
	市債								
	その他（基金繰入金、物品売払収入）	1,000	1,779	4,434	8,430	7,400			
	受益者負担金（使用料、手数料等）	1,986	3,644	2,900	3,500	3,600			
一般財源		10,863	10,482	6,716	5,279	13,921			
事業費の内訳									
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	
	謝礼金	R7	予算	1,348	展覧会運搬展示業務	R7	予算	2,650	650
		R8	予算	776		R8	予算	4,400	3,100
	旅費	R7	予算	830	広報資料製作業務	R7	予算	800	800
		R8	予算	620		R8	予算	1,100	1,100
	需用費	R7	予算	911	図録製作業務	R7	予算	2,770	0
		R8	予算	770		R8	予算	3,400	0
	役務費	R7	予算	650	各業務委託料	R7	予算	2,900	600
		R8	予算	550		R8	予算	2,600	2,600
	会場設営業務	R7	予算	4,000	その他（使用料及び賃借料、備品購入等）	R7	予算	350	350
		R8	予算	5,800		R8	予算	4,905	905
債務負担行為							(単位：千円)		
15	期間	R ~ R		要求額					

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	・大阪・関西万博の開催に合わせ、初公開資料を含む2つの企画展を開催。 ・博物館を会場に、文化課主催の竹工芸展を開催。同時期に、博物館主催で堺市茶室を活用して茶の湯をテーマとした事業を実施し、府内連携を図る。
	R8	・部署間の垣根を越えた協力体制を構築し、幅広い知見やアイデアを融合させることで、より魅力的な展示をおこなう。 ・従来のテーマに加え、多様な視点や切り口、体験型の要素を取り入れ、来場者が楽しみながら学べる展示とする。 ・地域の歴史や文化を支える伝統産業を積極的に紹介し、地元の魅力を再認識できる展示とする。
	R9以降	・令和7年度までに構築した他館・他団体との連携や府内連携を強化することにより、周知PRに努める。 ・費用削減の工夫も行いながら、企画展や関連事業を実施する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	年5回の企画展を開催する。集客力の高いパッケージ展示及び親しみやすいテーマやタイムリーなテーマを設定し、誘客促進を図る。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計		要求区分		その他	
事務事業名		事務事業分類		A 一般事務事業	
担当部署名		事業番号		008-065	
文化観光	局	歴史遺産活用 博物館	部	学芸	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化～Legacy～	施策 (1) 類いまれな歴史文化資源の継承と観光地としての魅力の向上
				取組の方向性	①類いまれな歴史文化資源の継承と磨き上げ	
		寄与 する KPI	有・無	指標名	世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅及び堺駅・堺旧港周辺の来訪者数	
			有	現状値	848万人（2024年度）	目標値 1200万人(2030年度)
		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット 8.9
	堺市SDGs 未来都市 計画			取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信	
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—
				現状値	—	目標値 —
		関連計画				
		事業開始年度	昭和 55 年度		点検対象年度	令和 12 年度
2	事業の概要	実施根拠 (根拠法令、条例等)	博物館法・文化財保護法			
		事業の実施主体	堺市博物館			
		事業の対象	市民及び本市への来訪者			対象数 —
		事業の目的	アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）との連携事業を通じ、多文化共生社会の実現に資すること目的とする。また、歴史的につながりの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げることをめざす。			
		事業内容	IRCIや国立民族学博物館などの研究機関と連携し、企画展示、無形文化遺産理解セミナー、ワークショップを実施する。また、ユネスコ、日本の無形文化遺産に関する取組や本市の事業を紹介するパネル、リーフレットを作成する。			
			○研究機関との連携 ・ユネスコの世界無形文化遺産や堺市の無形文化遺産に関わるセミナー・ワークショップ等を、5回実施。 ・無形文化遺産やIRCIの活動、堺市の普及啓発活動などを紹介するパネル展示を実施。			
			○広報事業 ・上記事業にかかるリーフレット・チラシの作成や報道提供、『無形文化遺産事業報告』の刊行。			
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
		主な支出先	委託業務の受注者			
		公民連携・協働事業				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
		人	目標値	250	300	300
			実績値	429	267	
			達成率	172%	89%	
	当該指標を選定した理由		募集予定人数等を目標値とした。			
	目標値の設定根拠・算出方法		参加者実数			
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		回	目標値	5	4	5
			実績値	5	6	
			達成率	100%	150%	
	当該指標を選定した理由		無形文化遺産の価値を知つもらうためには、魅力あるセミナーやワークショップ等の開催が必須であるため。			
	目標値の設定根拠・算出方法		IRCIとの協議による共催回数に加え、休日を中心とした日程で現状の職員数で実施可能な回数を設定。			

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	国際機関との連携事業	事業番号	008-065
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位:千円)										
13 財 源 内 訳	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		決算	決算	決算	予算	決算	予算	予算	予算要求			
	事業費 (a)		627		1,648		826		2,166		1,197	
	国支出金											
	府支出金											
	市債											
	その他 (基金繰入金、物品売払収入)											
受益者負担金(使用料、手数料等)												
一般財源			627		1,648		826		2,166		1,197	
事業費の内訳											(単位:千円)	
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
		R7	予算	150	150		R7	予算	345	345		
	謝礼金	R8	予算	150	150		R8	予算	250	250		
	費用弁償	R7	予算	104	104	印刷製本費等	R7	予算	95	95		
		R8	予算	104	104		R8	予算	70	70		
	普通旅費	R7	予算	79	79	通信運搬費	R7	予算	70	70		
		R8	予算	50	50		R8	予算	70	70		
	消耗品費	R7	予算	300	300	筆耕翻訳料	R7	予算	1,000	1,000		
		R8	予算	180	180		R8	予算	300	300		
	食糧費	R7	予算	7	7	展示パネル等作製業務	R7	予算	16	16		
		R8	予算	7	7		R8	予算	16	16		
債務負担行為											(単位:千円)	
15	期間	R ~ R			要求額							

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	・無形文化遺産の保護・継承の普及啓発を行うことを目的として、無形文化遺産を紹介するパネル展示や、セミナー、ワークショップ等の事業を行っている。 ・令和7年度は、大阪・関西万博の開催に合わせて、国内外の人々に日本の無形文化遺産を紹介するパネル展示を堺市博物館で行ったほか、同パネル展示をみはら歴史博物館や市内の商業施設で行う予定。 ・令和7年度は、無形文化遺産の理解促進に向け、無形文化遺産に関連したセミナーやワークショップを合計6回を開催した。また、IRCIアソシエイトフェローに講師を依頼し、IRCIの活動のほか無形文化遺産への登録の様子などについてギャラリートーク1回を行った。
	R8
	・無形文化遺産の理解促進に向け取組の方向性は継続しつつ、セミナーやワークショップの内容については細かく見直し、より効果的・効率的に実施できるようにブラッシュアップやスクラップ&ビルトを行う。
R9以降	
・令和8年度の見直しにもとづき、より効果的・効率的に、無形文化遺産保護・継承のための普及啓発活動を行う。	

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	無形文化遺産理解促進向けた効果的な事業を実施するため、内容を精査し予算を要求する。
----	---------	---